



栃木市立大平東小学校  
学校だより 第3号  
令和7年6月9日  
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

## あいさつ 挨拶ができる子に

前号では福沢諭吉の言葉から、本校の教育目標の第三項「たくましく」について述べました。今回は第二項「なかよく」についてお話します。

「なかよく」とは、具体的には「一人一人の違いを認め、協調する子」を育てることです。問題は、そのような子供をどうやって育てるのかです。

様々な考えがあるでしょうが、まず大切なのは、挨拶や返事ができる子に育てることだと思います。

「挨拶」は相手に心を開くことであり、「返事」は相手を受け入れることです。この2つで「我」がとれると言われています。よい人間関係を築くために必要なことです。

ここでは「挨拶」にしばってお話します。

まず、30年ほど前の私の実体験に基づいたお話をお読みください。

結婚した頃、とあるアパートに住んでいた。棟の1階東端の部屋であった。

彼は道路をはさんだ向かいの家に住んでいた。立派な家であった。高校の制服を着て出かけることがあったので高校生だったのだろう。玄関先に座ってタバコを吸う姿を毎日見かけた。バイクに乗る同年代の仲間が集まることも時々あった。

近くのコンビニに買い物に行く時やゴミ出しの時など、彼と道路ですれ違うことがしばしばあった。

夕飯を食べながら妻がよくぼやいていた。

妻「〇〇さん家の高校生、感じが悪いよね。こちらがあいさつしても無視するんだから。」

私「ん……。」

妻「こっちからあいさつすることないよね。」

私「ん……。」

妻は、彼とすれ違ってもあいさつをしないようにしたようだった。

私は、彼とすれ違うたびに朝は「おはようございます」、昼は「こんにちは」、夕方は「こんばんは」とこちらからあいさつをし続けていた。

最初は何も反応を示さなかった彼もしばらくすると、こくりと頭を下げるようになった。

1か月過ぎたころだろうか、やっと聞こえるような声でぼそっと「おはようございます」とあいさつをするようになった。

このことを妻に話すと、

「私にはあいさつしないから、こっちもあいさつしないよ。」

と、変えるつもりはないようだった。

数か月が過ぎたころだろうか、ゴミ出しをしていた私の後から「おはようございます」と、はっきりとした声が聞こえた。誰だろうと振り向くと彼がぺこりと頭を下げた。

彼から先にあいさつをしたのだった。

一日おきに東門と西門のところに立って、登校してくる子供たちに挨拶をしています。全体的に本校の子供たちは、挨拶ができる子が多いなと感心しています。

角を曲がり私の姿が見えると遠くから元気に挨拶する班もあり、北と南であいさつ合戦のようになることもあります。

私より先に元気にあいさつできる子、言われてからする子、ぺこりと頭を下げる子や声がなかなか出てこない子など様々です。これが自然です。



決して強要はしません。こちらから子供たちに挨拶をしています。

「教育」には2つの側面があります。

一つ目は「教＝教える」です。漢字や計算、運動会のダンスなど、短期間で成果を確認することができます。

もう一つが「育＝育む（はぐくむ）」です。相手が自ら成長していくことを手助けし、長期的な視点で能力を育むことです。

挨拶については、「教える」よりも「育む」の割合が高くなると考えています。

国民教育の師父といわれた森信三先生が提唱された「躰（しつけ）の三か条」を紹介いたします。

家庭教育の根本は実に「躰」であり、これが人間教育のスタートである。

その根本的な躰とは、

- (1) 朝、必ず親にあいさつする子にすること
- (2) 親に呼ばれたら必ず、「ハイ」とはっきり返事の出来る子にすること
- (3) 履き物を脱いだら必ずそろえる子にすること

この3つができるようになると、他のこともできると言います。

このような子に育てるには、まず家庭内で大人が挨拶をすることが大切です。

子供はよく「まねる」ことをします。小さい子ほどよく「まねる」ことをします。人間は「まねる」ことで様々なことを身に付けていきます。

学校でも、「子供にこちらから挨拶しましょう。」と教職員にお願いしています。

家庭と学校で手をたずさえて、挨拶ができる子を育てていきましょう。

◆1年生の保護者の方から感想が寄せられました。ご紹介いたします。(原文のまま)

運動会お世話になりました。まだ入学して2か月足らずの1年生ですが、徒競走、ダンス、玉入れ、東小音頭とどの種目もがんばっていたと思います。また、高学年の応援の子が法被を着て大きな声で応援している姿やお囃子の音色も大変良かったです。春の運動会、平日の午前中で給食ありということで、私たちのころの運動会とはずいぶん変わったなあと思います。個人的には給食があることはありがたいです。今後ご指導よろしくお願いします。

(メールアドレスの入力がなかったのでこちらで返信します)

【校長より】運動会の参観ありがとうございました。このように感想をいただけると大変励みになります。1年生にとっては入学して2か月经たない時期での運動会でしたが、短期間に集中して取り組んでいたと思います。運動会も学校行事の一環として行っております。大平地区行事調整会議や校内の会議等で実施時期や内容・方法等を検討して実施しております。今後も本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただけるとありがたいです。

